

2024 年度

法 人 事 業 計 画 書 (案)

社会福祉法人 からし種の会

## 1. 法人の基本理念

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

からし種の会は、キリストの愛と自由の精神に基づき、利用者の人権とその方の意思の尊重を重視していきます。安心して利用いただける環境づくりに努めるとともに利用者との契約に基づき、利用者本位の質の高いサービスが総合的に提供されるよう創意工夫していきます。

それにより利用者が個人の尊厳と意志決定を尊重した、安心して安全の快適な自立した生活を営むことができるよう支援していきます。また、社会福祉法人としての公共性のもとに、地域社会に関われた運営をめざします。

## 2. 法人の経営方針

法人の理念に沿った実践を展開していくためには、安定した持続可能な経営基盤を目指す財務収支の均衡と高い専門性をもって利用者や地域に仕える人材育成が不可欠です。一方で、介護人材の確保のためには、快適な職場環境の形成が不可欠です。そのことから次の経営方針を定め、事業を推進していきます。

- 1 利用者・家族にとって、安全、安心、自分らしさのある快適な生活づくり
- 2 職員にとって、安全、安心、働きがいのある職場環境づくり
- 3 行政、医療、福祉とのよい連携
- 4 地域の家づくりと共生
- 5 持続可能な財政基盤の確立

## 3 からし種の会が経営している各事業の安定化と質の向上

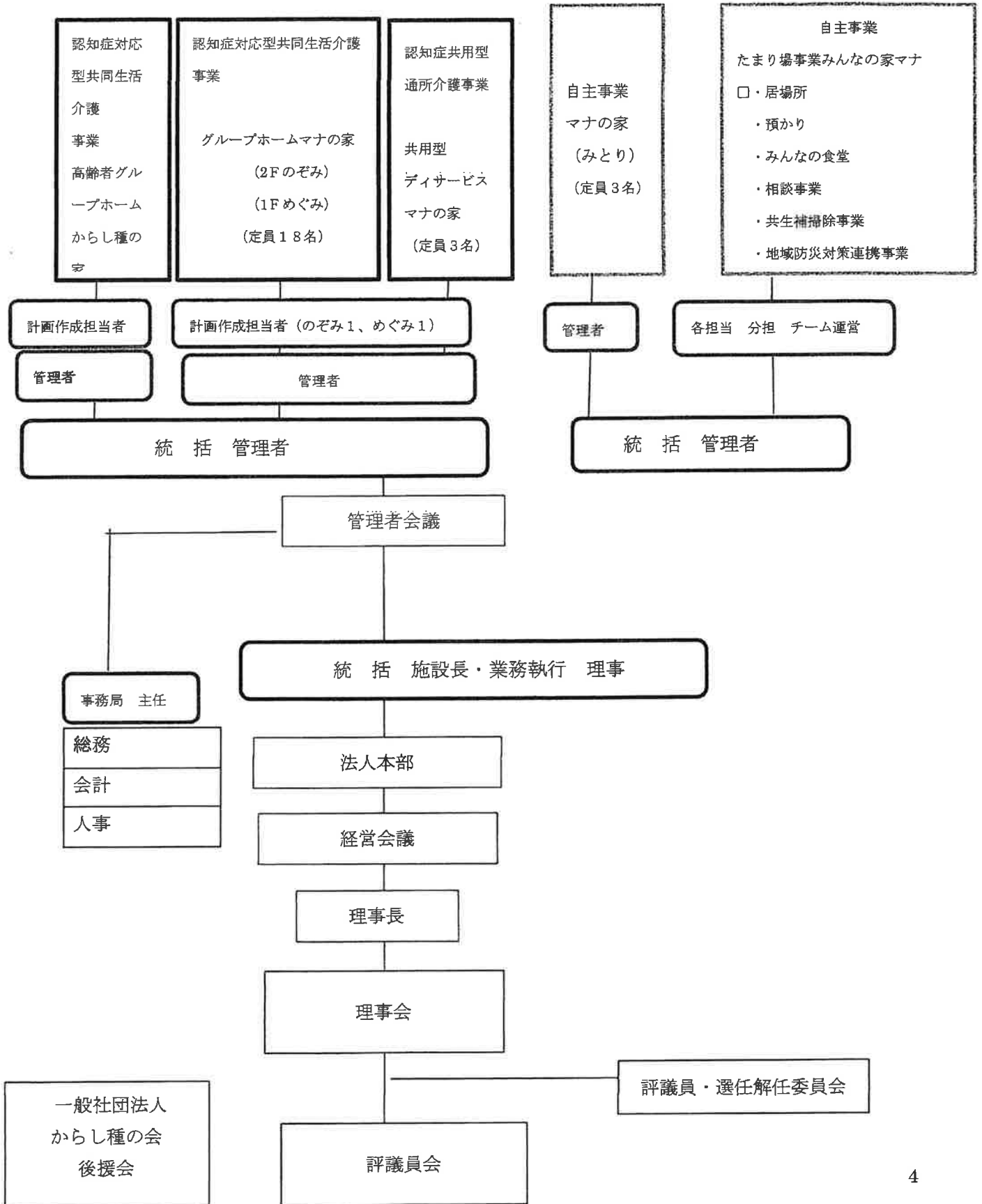
からし種の会	指定事業所番号	指定事業所	事業所名	定員
社会福祉事業	1570102481	認知症対応型共同生活介護	高齢者グループホームからし種の家	9
	1590100697	認知症対応型共同生活介護	グループホームマナの家 (2018.4.5 増床)	18
	1590100697	共用型認知症対応型通所介護	共用型ディサービスマナの家	3
公益事業		法人の独自事業・自主事業 1. 看取りの家  2. 地域公益事業	○マナの家	3
			○みんなの食堂 第4月曜日 月1回 お弁当配布 ○共生お掃除事業 毎週水曜日 9:30-11:30 就労支援事業所・気まま舎と連携	
			○たまり場みんなの家マナ 毎週月曜日 10:00~15:00 活動 ○預かり(上記開催時間内2名まで) 活動 ○要支援者等による防災対策事業 活動	活 動 中 止 中

4 組織図

2023年度 社会福祉法人 からし種の会 組織図表

社会福祉事業

公益事業



## 5. 評議員及び役員等の構成

評議員	理事	監事	評議員・解任委員会
7名	6名	2名	3名

※重点目標：法人ミッション・社会福祉充実計画とその社会福祉充実事業の一体化構想の構築へ

## 6. 評議員会、理事会開催計画

評議員会	第 1 回	2024 年 6 月下旬	2023 年度 会計決算報告、 2023 年度 社会福祉充実計画、定款変更、その他
	第 回	2024 年 月 日	定款変更等 その他

理事会	第 1 回	2024 年 6 月 中旬	2023 年度事業報告書、2023 年度会計決算報告、定時評議員会招集等
	第 2 回	2024 年 12 月 中旬	資金収支補正予算、定款変更 その他
	第 3 回	2025 年 3 月 下旬	2025 年度 事業計画並びに資金収支予算、その他

※その他、必要に応じて適時開催

## 7. 法人借入金償還計画（元金）

借入先	当初借入額	2024 年 3 月末		2024 年 3 月末 借入残額	備考
		償還済額	当期償還額		
福祉医療機構	63,200,000 円	46,638,000 円	3,492,000 円	16,562,000 円	既存マナの家
	85,000,000 円	23,414,000 円	4,452,000 円	61,586,000 円	増床マナの家
計	148,200,000 円	70,052,000 円	7,944,000 円	78,148,000 円	

## 8. 利用者目標 計画

事業所名	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度見込	2024 年度目標
からし種の家	97.95%	93.23%	97.00%	98.00%
マナの家	98.44%	93.92%	97.00%	98.00%
共用型デイサービス	72.05%	65.58%	75.00%	40.00%
公益事業 (マナの家)	107.52%	102.31%	95.00%	50.00%

## 社会福祉法人からし種の会 2024年度 法人 事業計画書

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

### I 法人事業計画

#### 1. 2024年度 事業計画基本方針 (重点課題)

- (1) 福祉人材確保・人材の育成・定着へ向けた働きやすい環境整備の実施
- (2) 認知症の人が生き生きと暮らせる健康・生活づくりを共有し各ホームの実践力を高める
- (3) 財務基盤の強化と健全化
- (4) 法人事務局体制の強化

#### 2. 重点課題への取り組み

##### (1) 福祉人材確保・人材の育成・定着へ向けた働きやすい環境整備の実施

ご利用者の方々が安心してサービスを受けられるよう、また、法人として安定した事業を継続して行えるためにも職員の確保、職員の資質向上に取り組んでいくことは法人の経営責任であり、緊急的に講じていく必要があります。職員ひとり一人の生きやすさ・働きやすさに着目して、職場環境を整備し、人材確保・育成・定着等にむけて、具体的な推進体制、研修計画を策定し、組織的に進めていきます。

##### ① 安定的に職員確保ができる仕組みの整備

- 求人内容、媒体、条件等の工夫
- 介護・認知症ケアの魅力の発信
- 学校等との連携

##### ② 人材育成への取り組み

- 人材育成計画表（入社～5年）等を作成し実施していく。
- 職員の自己研鑽を支援するために試験対策や資格取得の受講費用等を支援していく。
- 階層別研修を充実させ、次のリーダー、役職に就けるよう実施していく。
- 各ホームで取り組んでいる内容や研修の成果を発表する場を共有していく。

##### ③ 人材の定着支援の取り組み

- 子育て中の職員の短時間勤務をはじめ、病児・病後保育事業機関らと連携、資金補助する。
- 採用者の受け入れ態勢を整える。
- 悩みや課題を抱えている職員の早期発見・早期対応
- ハラスメント相談の設置、必要に応じた社会保険労務士と連携対応。

##### (2) 認知症の人が生き生きと暮らせる健康・生活づくりを共有し各ホームの実践力を高める。

- 県内外のグループホームとの交流、視察研修を実施する。
- 認知症ケアに特化した先駆的取組事例等の研修内容の充実をはかる。
- 庭や畑等の施設資源を活用した住民参加型の農福連携に取り組む。
- 法人独自の住民参加ボランティア活動を支援する仕組みをつくる。
- 「おでかけ GO」(ホーム巡回車)を活用し、買い物や外出の機会を増やし・広げる。
- 地域、他団体と協力しつつ、開かれた公開講演会を開催する。

### (3) 財務基盤の強化と健全化

#### ①財務基盤の強化

##### ○事業収入の拡大

地域ニーズに応え、各施設の定員充足をめざすとともに、ご利用者の健康づくり・自立した日常生活を継続支援する。安定的な利用等により収支改善をはかる。

##### ○収支状況の把握と管理

税理士法人さくら総合会計による巡回指導と経営会議を通して、常に各事業財政の分析を行い、課題を放置せずに改善の手立てを講じていく。

#### ②資金収支のバランスと既存事業の見直し

○共用型ディサービスの更新時まで改善されない場合は、事業の縮小・終了の方向で検討を進める。

### (4) 法人事務局体制の強化

#### ①適正な人員の確保

○離職に伴い、適正な日々の会計処理に関する事務を行う人員を確保する。

○経理業務を外注することも視野に置き、法人事務局の実態に沿った体制を強化する。

#### ②老朽化した施設の移転建替

○「からし種の家」施設の老朽化や設備の劣化等が顕著となり、施設の移転建替を検討するとともに移転後の計画も含めた土地選定等に関する今後の整備計画を具体化する

○そのためにも法人事務局体制の強化につながる人材の確保、配置を整備する。

### (5) 地域との協同と社会貢献

#### ○地域との連携体制の強化

○ボランティアの受け入れや地域イベントへの参加

○高齢者が主役の住民参加型の農業体験を企画し、交流を深める。

○地域に開かれた愛隣包括事業の継続。

## 2024年度 法人事務局事業計画(案)

## &lt;法人事務局 具体策&gt;

- ①事務局としての業務内容を理解し、より専門性を高める。
- ②事務局内での連携をはかり、各業務が適切かつ迅速に行われるように努める。
- ③事務職内での定期ミーティングにより、業務予定や計画、他社への連絡等を確認し合う。
- ④日々、行政機関等からのメールを確認し、各事業の管理者へ連絡すると共に必要書類を作成し提出する。
- ⑤研修等の案内があった場合、各事業の管理者及び受講者へ通知する。
- ⑥事務局業務が日々増えている事から、書類の作成提出に関し、より迅速かつ効率化を図る為、電子申請化を実施する。
- ⑦書類の整理・保存に関し、毎年度の書類の保存量が多く、保存場所の確保が難しくなっていることから、電子帳簿での保存も含め、整備する。

## &lt;総務&gt;

- ①理事会及び評議員会等が円滑に行われるように役員と連絡、相談を重ねる。
- ②ワーク社労士事務所との顧問契約により、労務に関し職員が働きやすい労働条件になるよう諸規程等について協議する。
- ③助成金等の申請がある場合、社会保険労務士と相談を重ね、適正な書類作成と申請に努める。
- ④人事評価制度については、人事評価規程に基づき全職員に実施していく。

## &lt;会計&gt;

- ①法人内での会計処理について、複数の職員でのダブルチェックを行い、仕訳入力の内容金額等の確認や補助簿との残高確認を行う。
- ②さくら総合会計の巡回監査により、会計の適正化を図る。
- ③さくら総合会計との経営会議を隔月ごとに開催し、経営状況を確認し合い、年度末の収支見込や社会福祉充実計画の運用について、協議していく。

## &lt;人 事&gt;

- ①職員の人材確保の為の補佐体制をとると共に、新人職員の採用にあたり、各事業の管理者と連携し育成指導していく。
- ②職員の求人について、求人サイトや専門業者主催の企業説明会等に参加し、採用につながるように努める。

## &lt;その他&gt;



- ① 法人のネット通信について、専門業者による保守契約によりネット環境を整備する。
- ② 共有フォルダー等についても、データ管理のより効率化・セキュリティーを強化する。

## 高齢者グループホームからし種の家 2024年度事業計画（案）

## 基本理念

本事業は、キリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

## 基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 地域とかかわりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

## 重点目標

- 1、ご利用者の心身の症状の変化を受け止め、一人一人に寄り添った細やかなケアを行う。
- 2、感染症予防対策を行いながらも地域、ご家族との交流、外出などホーム内以外の楽しみごとを増やしていく。
- 3、各委員会の主体的な運営と役割の向上。
- 4、ご利用者の退居や入院による空室期間の短縮を目指す。

## 行動計画

## 1 &lt;具体策&gt;

- ・認知症の進行や身体機能の低下は時間と共に避けられないが、できなくなってきたところ、わからないところをさりげなく支援できるよう個別のケアの方法の検討、伝達を職員で取り組む。ご本人の様子、「声（してほしいこと、不安なこと）」を申し送りでも共有していく。変化があればご家族にもお伝えし、一緒に考えていく。
- ・認知症ケア、介護技術についてのレベルを各職員があげていけるような個々の状態に応じた研修の機会を提供する。

## 2 &lt;具体策&gt;

- ・気候に合わせてホーム周辺の散歩の機会をそれぞれのご利用者ごとに作る。また、少量の買い物であればマスク着用の上、ご利用者と一緒に行く機会を作る。歩行状態、歩行可能な距離を把握し、無理のないよう介助する。
- ・街中や海岸沿いなどご利用者の希望をお聞きしたドライブの実施（人数によつ

てはマナの家ノアも借りる)。運転や乗り降りの支援等職員同士協力して実施する。

- ・ 敬老会など地域の行事にも可能な範囲で参加する。感染予防対策を行い、時間や行き先は事前に計画を立てて実施する。外出できる職員体制も整える。
- ・ ご家族との面会の予約時は希望に添えるよう時間調整し、環境を整える。(清掃、整理整頓、快適な温度、明るさ) ご本人の様子やご家族の思いをお聞きする場として各職員が対応し、ご家族とのコミュニケーションを図る。

### 3 <具体策>

- ・ マナの家職員と合同で特にリスクマネジメント、身体拘束廃止、虐待防止、感染対策の各委員会活動を各指針に沿って責任を持って行う。
- ・ 委員会ごとに研修の実施やマニュアルの見直しなど日々のケアの向上に活かせる取り組みを行う。

### 4 <具体策>

#### 利用者目標 計画

2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績 (2月末時点)	2024年度 目標
95.40%	97.95%	97.56%	97.57%	98.00%

- ・ 空室が出た場合は居宅介護支援事業所や病院、施設へ空室情報を一括送信し、申し込み者の確保に努める。
- ・ 入院時のご家族、病院と情報共有を行い、ご本人にとってよりよく過ごす場所を考え、退院後の受け入れ態勢の整備や他の入所先の相談など一緒に検討していく。

2024年度年間行事計画

高齢者グループホームからし種の家

	行事	地域
4月	お花見(桜)	
5月	しょうぶ湯、ドライブ	
6月	初夏のお楽しみ会	
7月	防災・避難訓練(消防署・地域の方々の参加による)	
8月	からし種の家夏祭り	
9月	敬老の日お祝い	一斉清掃
10月	ハロウィンお楽しみ会	敬老会
11月	からし種の会福祉バザー(作品、飾り作り含む)	作品展
12月	からし種の家クリスマスお楽しみ会、ゆず湯、大掃除、 合同クリスマス会	
1月	お正月	
2月	節分豆まき、避難訓練(ホーム内)	
3月	ひなまつり、彼岸のおはぎ作り	

\* 誕生会は当日に実施

## グループホームマナの家 2024年度事業計画（案）

## 基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

## 活動方針

1. その人の持てる力を発揮して頂く。
2. 地域と関わりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

## 重点目標

1. ご利用者個々の思いが実現できる生活作りを支援する。
2. ユニットを超えた職員間の連携でチーム力を高める。
3. BCPの充実と職員の周知を図る。
4. 役割や研修を通じて人が育つ組織作りに取り組む。
5. ご利用者の力を活かした地域交流。

## 行動計画

1. ご利用者個々の思いが実現できる生活作りを支援する

## &lt;具体策&gt;

- ① ご利用者の思いに耳を傾ける時間を大切にし、受け取った思いを申し送りや記録、会議等で伝え職員間で共有する。
- ② ケアプランに盛り込むなどして、ご利用者の思いの実現を図る。

2. ユニットを超えた職員間の連携でチーム力を高める

## &lt;具体策&gt;

- ① 委員会や行事活動などを通して協力関係を築く。
- ② 日頃より交流を図り、他ユニットのご利用者の理解を深める。
- ③ お互いに応援に入れる体制作り

### 3. BCPの充実と職員の周知を図る

#### <具体策>

- ① BCP委員会によるマニュアルの見直しを定期的に行う。
- ② 感染症、災害共にBCPマニュアルの周知を図る。
- ③ 研修と訓練を行い、実践力を身につけるとともに、BCPの内容や準備の充実を図る。

### 4. 役割や研修を通じて人が育つ組織作りに取り組む。

#### <具体策>

- ① 係や委員会の活動内容をより明確にし、活動を行う事で介護以外のスキルを磨く。
- ② 職員個々の段階に応じてチーム作りにつながる研修の機会を設ける。

### 5. ご利用者の力を活かした地域交流。

#### <具体策>

- ① 散歩や買い物など日常生活の中で地域との交流を図る。
- ② 「みんなの食堂」や「からし種バザー」などを通じて地域とご利用者をつなぐ。
- ③ ご利用者の運営推進会議の参加や意見の発信で、老いや認知症を抱えた当事者の言葉の深さを伝え、当事者が地域の方となるよう仲介する。

## 2024 年度 年間行事 (案)

	行事内容	担当
4月	お花見 (桜以外も) イースター	
5月	畑作り 庭作り	
6月	6/16 和菓子の日 外食	
7月	土用の丑の日 七夕まつり 風鈴作り	
8月	花火大会 スイカ割り 夏祭り (ヨニヨニ、的あて等)	
9月	敬老会 月見 外出レク (マリソピア、ぶどう狩り等)	
10月	ハロウィン 紅葉狩り	
11月	からし種バザー お茶会 紅葉狩り	
12月	クリスマス会	
1月	お正月新年会 (絵馬、書初め、カルタ、福笑い等)	
2月	節分の豆まき バレンタインデー (チョコ作り)	
3月	ひな祭り (桜餅づくり)	

○ご利用者個々の希望を叶える (外出、食事、楽しみごとなど)

○両ユニット合同行事の機会を作る

## 共用型デイサービスマナの家 2024年度事業計画（案）

### 基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

### 活動方針

1. 自己決定、自己実現ができる。
2. 制約されないケア。
3. 地域と関わりながら暮らす。
4. 生き方や価値観を尊重し認め合う。
5. 自由な暮らしを支援する。

### 重点目標

1. ご利用の回数の中でも満足感を得て頂けるようグループホームのご利用者との交流や作業等の楽しみを増やす。
2. ご家族や担当ケアマネジャー、他の事業所との連携を強化、ケアプランに沿った支援をチームで行う。
3. 認知症対応のグループホームの専門性を活かしたケアで、認知症を抱えても安心して過ごせるサポートを行う。

### 行動計画

1. ご利用の回数の中でも満足感を得て頂けるようグループホームのご利用者との交流や作業等の楽しみを増やす。

#### <具体策>

- ・利用日を考慮して行事などを計画し、ホームのご利用者と共に楽しめる機会を設ける。
- ・職員間で情報を共有し、ご利用者の活動や楽しみの幅を広げる。

2. ご家族や担当ケアマネジャー、他の事業所との連携を強化、ケアプランに沿った支援をチームで行う。

#### <具体策>

・全職員がニーズや支援内容を把握する（情報の確認）。連絡帳に行っていたこと、様子、心身の変化への気づきを意識して記載する。（詳細な情報提供）。日常の記録を元に月一回の担当ケアマネジャーへのモニタリングの作成を行う。支援内容の変更が必要な場合などもあるため、日頃から心身の状態の変化に気づけるよう視点を持つ。



- ・ご家族の悩みや不安などもケアマネジャーや他の事業所と共有し、連携を図る。

3. 認知症対応のグループホームの専門性を活かしたケアで、認知症を抱えても安心して過ごせるサポートを行う。

<具体策>

- ・ご利用者の抱える症状に合わせた対応を模索し、不安や混乱の軽減を図る。
- ・サービス担当者会議などで、認知症ケアについて伝え、ご利用者の理解につなげる。

## からし種・愛隣包括的支援事業

### 地域福祉事業 マナの家・みんなの家マナ 2024 年度事業計画（案）

#### 基本理念

- ・親子が地域で安心して子育て、子育てができる。
- ・障害があっても、老いても、安心して住み慣れた地域でずっと暮らせる。
- ・地域で支えあえ、地域で育て、地域で見守るたまり場を提供し、交流を図る。
- ・赤ちゃんからお年寄りまで、安心して預かることができる。

#### 重点目標

1. 自主事業の発展と拡大のため、総合的に管理運営できる組織編成を行う。
2. 公共事業としての各事業の連携、スタッフ間の情報の共有化を図る。
3. 新型コロナウイルス等の感染防止対策の徹底化を図る。
4. 感染予防の相違工夫により、地域住民との新たな出会いとつながりの継続性に取り組む。

#### 1. マナの家(看取り支援)

- ① その人らしく最後まで暮らすことができるよう、本人、家族の思いをしっかりと受け止めることに努める。
- ② 新型コロナウイルスの感染防止策の徹底を図りながら、戸外への散歩やドライブなどの外出を試みるなど、活動の場を広げていく。
- ③ 看取り介護の充実を図るため、地域医療並びに介護関係機関との情報交換を密にしながらい信頼関係を築き、本人・ご家族の意向に添える安らかな自然死を迎えられるように支援する。
- ④ 入居希望者があった時及び入居者に変化があった時にスタッフ会議を開催し、入居者の状態に合った安心、安全な介護が、職員全員がタイムリーにできるように努める。
- ⑤ 看取り希望の入居希望者が少なくなっており、現在「マナの家」を利用している方は1名(看取りでない)である。今後入居希望者があった場合には、家族と十分に話し合いながら、職員体制を整え自主事業としての健全な経営を目指す。